

刊夕 日六十二月六
休日 日曜祭日
一月 月 廿五
郵税 十五 第一 部 二 錢
廣告料 一行 四十 錢
場所 指定 廿 錢 増
發行 所 福 島 縣 平 野 町 大 町 五
新 報 社 新 報 社

富める者のみが安全

細民は殖えるばかり

多額負擔者は激減中産者は漸減

未恐るべき近年の趨勢

平町會は既報の如く去る二十四日の開會に引續いて目下特戸賦課制の調査中であるが近年に於ける同税の情勢は富豪階級が同族會社をつくる合法的脱税策による多額負擔者の激減に加へて中産階級の負擔者を漸減し其の結果として少額負擔の下級民ばかりを著しく増加してゐる將來實に憂ふべき傾向を示し此の趨勢は懸念すべきもの少くなく、識者の間に深憂されてゐる。

學徳の修養に努め

教育の効果増大を期す

郡下小學校教員總會で宣言

郡下小學校教員總會は二十五日午前八時三十分から平野第一校講堂で開會、出席五百十余名、會我會長開辭を述べ、國歌合唱、詔書奉讀、會務報告あり、左の如き宣言を決議の後、仲村辰四郎氏から全國聯合教員會狀況報告あり、次に會員大谷徹(平野第一)高橋正一(大浦)兩君の意見發表の後、文部省圖書監修官佐野保太郎

四倉市場閉場

郡下の春蘭出廻り閑散

去る十七日から開場した四倉市場は出廻りも漸やく閑散となり、二十五日は僅か七百貫の出荷

常識講座
サンマータムとはサ
ンマー(夏)の時間と云
ふ意で日の永い夏の暑
い盛りを限り働きの易
い涼しい間に能率を上げ
様と云ふので仕事の時
間を半分或は一時間と
の他適當に繰上げるこ
となつた、同區に包含される
は大町、十五町目、小太郎町
の全部、仲町の一部である
警察従業員に對しては從來
ワクチン試用 勝チブス豫
防に注射のみを行つてゐたが
今回初めてを試みとして内服
ワクチンを使用することにな
り二十五日午前九時から縣衛
生中會根技手、落合技手が内
郷村磐城炭礦に出張、同礦従
業員百五十名に試用せしめた
がその結果を關係方面から注
目されてゐる。

大町獨立

來月一日から

廿八區となる

平町大町の獨立は二十四日の町會で可決され、來月一日から第二十八區として、南町(十三區)から分離することに

吉田禮次郎氏逝去

東北に於ける新聞販賣王

平町白銀町新聞販賣業平陽會主吉田禮次郎氏は業用で出張中の去る二十四日水戸市に於て午後十一時頃突然腦出血を起し醫務に手を盡したが二十五日午前一時遂に逝去した同氏は東北新聞販賣界の大成功者として知られ地方各種實業界にも重きをなしては町議及び郡議にも天性的敏腕を鳴らし又公共方面にも盡された美事から平町貧困者救済の爲め數年以來毎盆賽毎に金百圓宛を贈名で贈られてゐたことも死後に於て町當局からあかされてゐる行年六十四才一般から其死を惜まれてゐる葬儀は明二十七日午後二時同町日本基督教會に於て左記により執行して大寶寺に埋葬される

社會事業に

五百圓

吉田家から寄附 讚美歌、説教、祈禱、履歴 朗讀、弔辭、讚美歌、謝辭 讚美歌(以上) 平町白銀町の吉田素氏は亡父(禮次郎)の遺言により今二十一日社會事業に充てられた旨を添えて町役場に金五百圓を寄附され當局では該金を左記に配當された

昨日遠征の野球部
双相軍を敗つて歸る
濱三郡双中、相中、磐中、平野、午後二時から磐中球場で舉行の對校野球試合は二十五日午前八時から双中球場で舉行されたが磐中中、平野赤坂の各投手頗る好調で双相との二回戦を通じ田中は敵に四安打、赤坂は五安打を許したのみで何れも快勝した、戦績左の如し、バッテリー平野赤坂一渡邊 △磐中田中一杉浦 △双中富澤、鈴木一 小泉 △相中横田一佐藤

庭球巴三戰

磐中軍優勝

雙中、磐中、平野三校庭球戰

雙中、磐中、平野三校庭球戰は二十五日午前九時から磐中コートで舉行、左の戦績で磐中優勝した

世はさきまき

當時住所不定永戸村大字上永井字永井澤三八熊谷武雄(五)は二十二才の時家出し本年三月まで東京市清水組に就職してゐたが將來の見込がないから賭博で一儲けして郷里で豆腐製造業を始めようとして去る四月歸郷、内郷、大浦、草野、箕輪等の村議、名譽職二十數名から五十餘乃至七十餘を巧みに詐取し之をもととして内郷村賭博常習犯石川徳之助方に入浴し賭博に目を明かしてゐたこと平野に探知され二十四日檢査された

平野友敗る

安打磐中一七、相中三 平野友敗る 平野 友對藤浦井野球戰は二十五日

那中畑村之内生れ無職深澤正巳(三)は二十四日午前十時頃内郷村宮雜貨商川マヌエ方留守から寶溜金七圓餘を窃取し平野に檢舉

二才駒せり市

來月三日から開く

郡産馬畜産組合では來月四日から六日まで川前村柳賣で九日は上小川で二才駒せり市を開く、尙三日は川前で優良馬選抜會を開く、出頭馬は百八十頭に達する見込

縣主催 青年訓練視察研究會は七月二十日午前九時から飯野村青年訓練所で開く 濱三郡 木炭移出組合役員會は來月三日午前十一時から平町團體事務所で開き商業組合に組織變更の件につき協議

父禮次郎儀旅行中水戸市にて腦出血症を起し二十五日午前一時自宅に於て死去致し候に付生前の御厚誼を拜謝し此段謹告仕候

追て明後二十七日午後二時自宅出棺平町十五丁目日本基督教會にて告別式執行后平町大寶寺に埋葬致可候 昭和八年六月二十五日 福島縣平野町白銀町

親戚總代 吉田喜代 吉田素 山崎與三 青沼鋒太郎 友人總代 柴田徳一

謹啓 長女静永々病氣の處療養、不相叶六月二十五日午後十時死去仕候生前格別の御温情を賜り候段奉深謝候茲に御禮を兼ね御通知申上候 敬具 追前告別式は六月廿七日午前十時より十二時迄途中華を發し大館明賢寺に於て相替可申候 昭和八年六月二十六日 平野八幡小路 柴田徳一

鶏業の常識

副業の常識(三)
養鶏 東農大出身 鈴木技師

一、鶏の食滞
食滞と云ふのは素養に食物の停滞する疾病で成鶏にも度々発生するものであるが殊に雛には多いのである。
一、原因、種々あるけれども凡そ次の如きが最も大なるものである。
1、夜間温度の不充足又は過温
雛は温度が適當でなければ安眠することができない随つて消化吸収にも影響して翌朝停滞する様になるのである。
2、不規則の給餌、消化器の働を弱らせるもので殊に給餌時間の長きこと又は一時に多量を給することは直接の原因となるのである。
3、蒸熱を醸した場合、育雛器の不潔又は換氣不十分のため蒸熱を醸すと高温と同一の結果を來たすのである。
4、乾燥が過ぎて水分が不足する場合、これに勿論直接の原因となるものである、其の他換羽中の疲勞等も間接に原因するものである。
二、徴候、多少なりとも育雛に従事したものは既に経験したことであると思ふ、前夕與へた飼料が糞袋に停滞し雛はぼんやりしてゐて元氣食慾共になく其まゝ放置すれば衰弱して成育著しく遅れるのみならず遂には斃死するのである、概して餌付後二、三日で發病した

ものは經過不良で稍生長したもので度々本症を發生させる様な管理では決して良い成績を挙げることはできない。

傘日ソラパ

ヤルツ

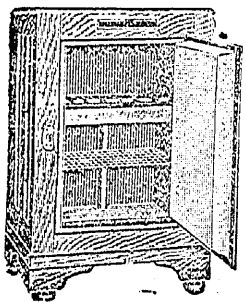
〇四一話電四平

静岡本場、小笠原茶
大角園特約
半谷商店
平大町若松病院隣

冷却力が永久におそろへず
いつまでも使へる冷蔵庫

丸はん冷蔵庫

平町三丁目
電話三五九



岩谷冷蔵庫の代理店も致して居ります

開業

諸橋外科醫院

醫學博士 諸橋鐵彌
平町新川町二十七番電話四六四
入院室 手術室 完備

診療科目
△内臓外科 △婦人外科
△整形外科 △性病科
△皮膚外科 △一般外科

素人にも譯なく塗れる！カセイン

カベ塗料

(一坪分) 單價 一拾五錢

●すぐ乾き……手間とれず塗れて……それが絶對變色せぬのが特長、
●御婦人や子供にもたやすく塗ることが出來ます
●どんな色合でもございますから御見本御覽の上是非一度御使用して見て下さい、

特約販賣店 大谷建材商店
平町 紺屋町 電話 三六六番

外科 内臓外科 醫學士 内木 宗八
整形外科 外科一般
産科 婦人科 院長 木村寅次郎
平町新川町一九番 電話一六四番
木村病院

☑ 一般印刷物も御引受致します ☑

新しいわき新聞社

サロンは御家庭の延長
御料理本位のサロン

これからの御飲物
フルウツ ボンチ 二十五錢
コール コーヒー 十五錢
一度當店のものを御試飲を乞ふ……

佛蘭西料理 平町田町 電話三五二

入院應需
藤沼醫院
紺屋町 電話五〇七番

價之低く 質之高く

良品廉價

西村屋藥舖

平町大町 電話 呼六三七

磐城共濟病院 (電話一四二一)

内科、小兒科 (院長醫學博士 石山謙)
外科、皮膚、性病科 (副院長醫學士 有馬勇二)
産婦人科 (近日常任 有馬勇二)
耳鼻咽喉科 (醫學士 石山謙)
X光線科、物理科 (醫學博士 石山謙)
藥劑科 (藥局長藥劑師 石山謙)
衛生試驗所 (技師 高木寶雄)

カフェー夕ヒラの食堂

ムラサキの藤の房 (藤の花が)

天井一面に擴がる天然木の見事さをご覧下さいませ、
そしてほがらかな女給さん達を御相手にお休み下さいませ、

カフェー夕ヒラ
平町前 電話六二〇番

寫眞は是非當館へ

美術引伸、人像専門

齊藤寫眞館
平町大町 電話 呼六三七

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋藥舖 (電3)

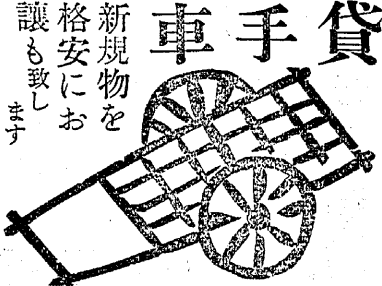
平町大町若松病院隣

入院應需

明雲堂眼科醫院
平町前 電話六六九番

高久病院
院長 醫學士 高久忠
平町田町 電話五二三番

外科、小兒科
内科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科



貸手車
新規物を格安にお譲り致します